

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道294号 守谷 ^{もりや} 拡幅	事業区分 一般国道	事業主体 いばらきけん 茨城県
起終点 自：茨城県取手市戸頭 ^{とりで とがしら} 至：茨城県守谷市守谷 ^{もりや}	延長 5.0 km	
事業概要 一般国道294号は、千葉県柏市を起点として福島県会津若松市に至る延長約228kmの主要幹線道路である。 守谷 ^{もりや} 拡幅は、沿線の著しい住宅開発に伴う慢性的な交通渋滞の解消を目的とした延長約5.0kmの4車線拡幅事業である。		
S60年度事業化	S49年度都市計画決定 (H年度変更)	S61年度用地着手
全体事業費 約141.2億円	事業進捗率 58%	供用済延長 2.5 km
計画交通量 21,500台/日		
費用対効果分析結果	総費用 (事業)/ (事業全体) 57/95億円 (事業費：52/90億円 維持管理費：5/5億円)	総便益 (事業)/ (事業全体) 355/355億円 (走行時間短縮便益：344/344億円 走行費用減少便益：11/11億円 交通事故減少便益：0/0億円)
(事業全体) 3.7 (残事業) 6.2		基準年 平成15年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（乙子交差点の立体化に伴う踏切除却により、交通改善が期待される） ・都市の再生（守谷駅周辺一体型土地区画整理事業との連携により、つくばエクスプレス沿線開発を支援する）他6項目に該当（定量的評価項目を含む）		
関係する地方公共団体等の意見 本路線は地域間交流の促進等に重要な役割を担っており、下館市をはじめとする関係5市2町2村の首長で構成される国道294号建設期成同盟会より整備促進の要望（平成15年7月2日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 常総ニュータウン開発や常磐自動車道及び常総バイパスの開通により交通量が増大している。常磐新線の開業により、一層、交通需要の増加が見込まれる。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 一部において用地補償協議が難航しているが、現在までに約2.5kmを部分供用している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成18年までに用地買収を終了し、乙子交差点の工事を進めるとともに、土地区画整理事業との一体的な整備を図りながら、平成19年度には全線供用予定である。		
施設の構造や工法の変更等 二次製品の大型化や再生材の利用等コスト縮減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。